
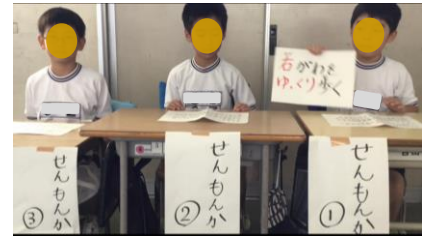




むらさき朝会「廊下歩行」について

本日5(木)は、むらさき朝会でした。今月の生活目標は「廊下は静かに右側を歩こう」です。まず、3年生が生活目標に関する動画をつくってくれて、それを全校で視聴しました。3年生は、廊下を走ってぶつかった架空の事故現場を取材するというユニークな発想で、廊下を走る危険性を訴えてくれました。また、廊下で騒いで放送が聴こえなくなるというデメリットも子供目線で作成してくれ、とても分かり易かったです。専門家役の皆さんの意見も参考になりました。3年生の皆さん、ありがとうございました。



3年生動画より

私の方からは、子供たちに次のような話をしました。「廊下は静かに右側を歩こう」というきまりを破ると、たくさんの人が走っていることに気がきます。それはきまりを破った人が「わたしたちは、『きまり』を守らないことを誓います。」と選手宣誓していることと同じだということです。そして、きまりを破ると、人から信頼されなくなり、人間関係を作れなくなって、うまく成長できなくなるという話をしました。

きまり(ルール)は、憲法をはじめとして、県や市の条例、さらには交通ルールや学校・学級のきまりなど無数に存在します。それは、私たちの安心・安全のため、また平和に暮らしていけるために作られてきました。例えば、スポーツで言えば、サッカーにもルールがあり、そのルールをきちんと理解し、戦術にうまく生かすことで、チームのレベルアップにも繋がります。この様に、そのきまりやルールがなぜあるのか、それを理解することで生活がよりよくなっていくと思います。

もちろん時代や社会背景によって、きまりやルールは変わっていきます。そういう時代にそぐわなくなったきまりやルールの矛盾にも気が付きながら、よりよいきまりやルールを築いていける人になってくれることに期待しています。

帯山中学校「白亜祭」に行ってきました

帯中の三大行事の一つである校内合唱コンクール「白亜祭」の招待を受け、本日5日(木)に参加してきました。白亜祭は、コロナ禍においても継続され、今年で32回目を迎えるそうです。この合唱コンクールの特徴的なところは、県立劇場で行われ、しかも、たてわり(3学年が合同で団を結成)合唱で発表するというところです。例えば最初に出てきた合唱団は、3



年5組・2年3組・1年4組・1年6組と100人以上の合唱団でした。今年の白亜祭のテーマ「和～歌で創る千の笑顔、歌で創る今～」でしたが、3学年の異年齢集団が、心ひとつに歌詞に込められた意味を噛みしめながら歌い上げる姿に感動しました。私は十数年前、県立劇場前の小学校に勤務したことがあります。その小学校の音楽会も、県立劇場で行われていました。そこで5年間指揮棒を振ってきましたが、それなりの緊張感がありました。しかし、今日の中学生の指揮者は、堂々と楽しみながら指揮をし、それを見ながら歌っている生徒たちからもまた、歌を楽しんでいる様子が伝わってきました。帯西の子供たちの数年後の姿をそこに重ねて、会場を後にしました。